

ズッチーナの21

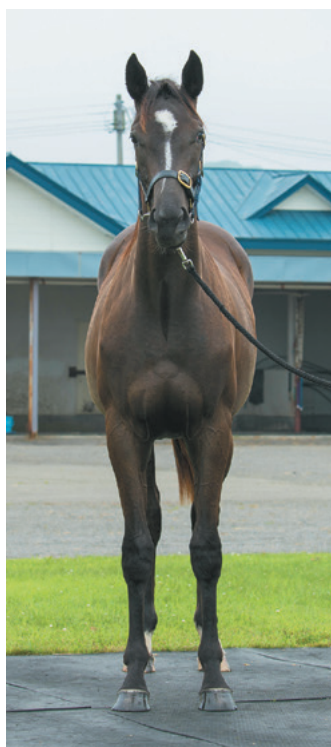
メス 2021年2月11日生 | 青鹿毛 | 佐賀・真島元徳厩舎 | 釘田義美生産



一口価格：**13,200円**

※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません

募集口数：500口【競走馬出資金総額 660万円】



POINT

父ケイムホームは、産駒のインティがフェブラリーSを制したことがまだ記憶に新しいですが、残された産駒はあと2世代となりました。その貴重な血を受け継ぐ本馬ですが、コンパクトにまとまった馬体ながらも発達した筋肉、どっしりとした腹袋を持ち、一目見てパワーを備えていることが見受けられます。力感に溢れる本馬は、男馬相手にも怯むことなく戦ってくれるはず。仕上がりに時間もかかるタイプではなさそうで早期デビューも可能はず。佐賀の地から夏の小倉への挑戦も決して夢ではないはず。

治郎丸敬之の馬体診断

今年もケイムホーム産駒が募集されると聞いて、馬体を見てみると、やはり昨年の僕の見立ては間違っていなかったようです。ケイムホーム産駒は首がスッと伸びて抜けが良く、インティやサウンドリアーナらの産駒たちの馬体を見返してみても、それが走るケイムホーム産駒の特徴であることが分かりました。見事な首差しを上手に使って走ることができれば、マイルを超える距離でも活躍するはず。ズッチーナの21は筋肉量が豊富で、特に前駆の力強さと牝馬らしからぬ腹構えの立派さはパッと目を引きま。首を上手に使って歩いているのは好印象です。後駆にはまだ成長の余地を残していますが、母ズッチーナは末勝利ながらも470キロ台の恵まれた馬体を有していましたので、おそらく同馬もそれぐらいのサイズ感には成長してくるはず。顔つきからは気性の激しさが伝わってきますから、そのあたりは今後の課題になるでしょう。気性の激しさが、ダート競馬にて砂を被っても怯まない気持ちの強さとして変換されたら、面白い存在になるのではないのでしょうか。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。